

2021年8月6日

## 多様性が認められる寛容な社会の実現に向けた絵本を刊行

株式会社ドリームインキュベータ（東京都千代田区、代表取締役社長 COO 三宅 孝之、以下 DI）は、多様性が認められる寛容な社会の実現に向け、弊社で企画・編集・出版を手掛けた絵本を刊行することをお知らせいたします。

# ふたりの ももたろう

作 木戸優起  
絵 キタハラケンタ



### ■ 絵本の概要

- 刊行日 : 2021年8月11日  
販売方法 : 全国の書店およびネット書店（Amazon、楽天ブックスなどで、予約受付中）  
Amazon < <https://www.amazon.co.jp/gp/product/4910619003/> >  
楽天ブックス < <https://books.rakuten.co.jp/rb/16837745/> >  
作・企画・造本 : 木戸優起（DI ビジネスプロデューサー）  
絵 : キタハラケンタ（キャラクターデザイナー・イラストレーター）  
発行者 : ドリームインキュベータ  
定価 : 税込 1,980 円（本体価格 1,800 円 + 税 10%）  
判型・ページ数 : A4 変型（214×256 mm）・58P  
ISBN978-4-910619-00-2

なお本日、絵本の詳細をご紹介する公式サイト < <https://tskn.jp/momotaro> > をオープンいたしました。

### ■ 出版の背景

DI では、「社会を変える 事業を創る。」をミッションに掲げ、コンサルティングの枠を超えた発想で社会課題を解決するビジネスプロデュースに取り組んでいます。

昨今、新型コロナウイルスの流行によりさらに加速している、社会の“格差”や“分断”に対して課題を感じており、多様性が認められる寛容な社会の実現に向けた複数の企画を推進しています。

その一つとして、2020年6月より、株式会社 U.S と共同で、「いろんな価値観に触れ、視野が広がり、優しい気持ちになる」場を提供したいという想いで、多様な方々の価値観を、記事を通じて発信する「#たしかに」という Web メディアを運営しています。

多様性が高まっていく社会の中で、生活者が多様に・複雑になっていき、相手を理解することが難しくなっていくと考えています。そのため、ますます相手の立場に立って考えることや、共感性が重要になってくると感じています。そこで、このたび「#たしかに」の取組の一環として、子どもの共感性を育むことを目的に、“相手の立場に立って考える”きっかけを提供する絵本を企画・出版いたしました。

## ■ 絵本の特徴

絵本の本文がじゃばら構造になっており、その表・裏で、異なる視点からのストーリーを描いた、1冊の中に2つのストーリーが入った、これまでにないユニークな絵本です。今作ではももたろうを題材にしており、一般的なストーリーと、鬼に育てられたももたろうの創作ストーリーの2つの視点を描いています。

また、2人の物語が交錯する内容となっており、異なる考え方の2人の主人公の物語を読み繋いで体験した読者に、違う立場に立って考えるきっかけを提供します。

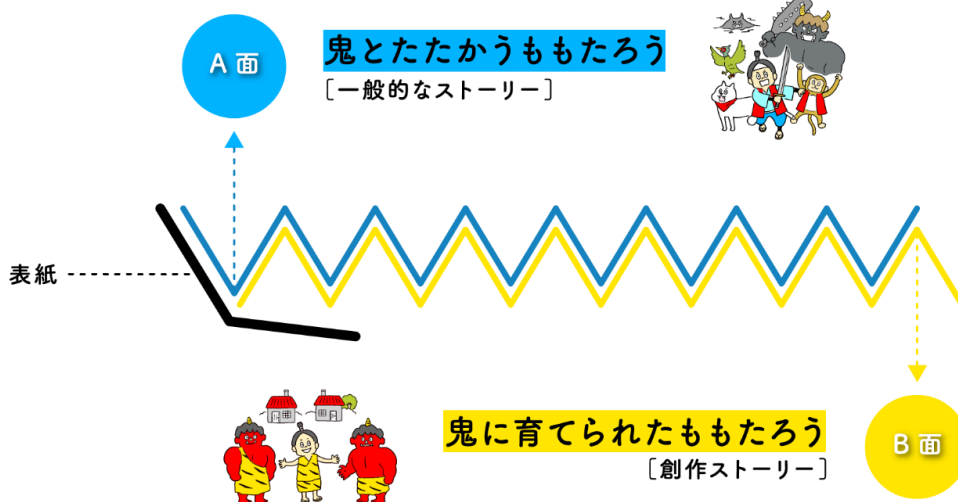
### 1つ目の視点

〔一般的なももたろうの物語〕



### 2つ目の視点

〔鬼に育てられたももたろうの物語〕



【本リリースに関する問合せ先】

株式会社ドリームインキュベータ ビジネスプロデュース部門 西村、木戸、深澤

電話：03-5532-3200 / Email：[info@dreamincubator.co.jp](mailto:info@dreamincubator.co.jp)